

きららビーチでの犬の散歩を解禁してください

《提言内容》

きららビーチは気持ちの良い素晴らしい公園だと思いますが、「犬の散歩禁止」の看板が見苦しいほど立てられています。犬の糞が問題なら飼主のマナーの向上を図るべきではありませんか。糞の始末をするのは飼主の最低限のマナーであり責任です。ペットと共に楽しく生活できるまちになってほしいです。



《回答：土木課・環境課》

きららビーチ焼野では、多くの利用者が芝生で横になったり、砂浜で裸足になったりされることから、「犬の散歩禁止」の看板を設置して犬を連れて立ち入ることを規制しています。市としては、きららビーチを快適に利用していただくためにも当面は看板を設置して管理人による指導を続けたいと思います。

また、市内の各所で糞の放置が見受けられますが、ある地域では市民のみなさんのご協力によりパトロールボランティアを結成して糞の持ち帰りや清掃を実施し、住民も飼主もともに気持ちの良い地域を築いていこうと活動されています。市もこういった活動に対して積極的に支援を行うとともに、飼主のマナーの向上を図るために糞の持ち帰りを呼びかける看板やチラシを作成して啓発を行ってまいりますのでご協力をお願いします。

国道 190 号の早期 4 車線化を要望します

《提言内容》

国道 190 号は千代町付近から 4 車線化がまったく進んでいません。湾岸道路は整備が推進されているようですが、国道 190 号の新生町から長田屋橋交差点を右折したマックスバリュ付近までの県道を 4 車線化すれば、慢性的な渋滞や車線減少箇所の危険性の緩和が図られるのではないのでしょうか。



《回答：土木課》

国道 190 号の丸河内から西高泊間については、平成 14 年度から事業休止となっておりますが、丸河内から労災病院入口まではすでに用地買収も済んでいる状況ですので、事業を再開するよう国等関係機関に要望してまいります。

また、山口県は県道小野田山陽線の国道 190 号からマックスバリュ付近間の 4 車線化についても平成 13 年度から関係機関との協議や事業用地の取得を進めています。

なお、小野田湾岸線については平成 20 年 6 月に国道 190 号から市道旭町後潟線までが部分開通し、市民病院や大塚工業団地へのアクセスが改善されました。現在、有帆川架橋工事が着手されていますが、この道路の完成によって小野田港臨港地区とのアクセスが強化され、小野田市街地における渋滞緩和が図られることとなります。これらの道路は市内の幹線道路として重要な路線であり、1 日も早い完成に向け県等関係機関に要望してまいります。